



はこだて科学寺子屋〈集中講座〉、今年も開催。

「まち」について、「科学」について、
市民と学生と専門家が一緒になって考え、議論し、学び合う
“**熱い3日間**” —— あなたも参加してみませんか。

会場 公立はこだて
未来大学4階
494講義室(8/5)

東本願寺
函館別院(8/6,7)

8月 10:00~17:00
2011
5 金曜日
6 土曜日
7 日曜日

- ・いろいろな世代の人と一緒に学びたい!
 - ・科学技術コミュニケーションについて知りたい!
 - ・「はこだて国際科学祭」に参加してみたい!
 - ・函館をもっと元気にしたい!
- そんな方々の参加をお待ちしています。

講師:

田柳恵美子(公立はこだて未来大学特任教授)

渡辺 保史(北海道大学大学院地球環境科学研究院 上級コーディネーター)

ゲスト講師:

森 由美子(特定非営利活動法人パンゲア理事長)

受講料無料/要申込み(定員 30人程度, 先着順)

キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目

「科学技術コミュニケーション入門」

<http://www.sciencefestival.jp/>

 公立はこだて未来大学
FUTURE UNIVERSITY-HAKODATE

 寺子屋
SCIENCE FESTIVAL

CCH キャンパス・コンソーシアム函館

AD:SSH2011_0623/KLAB@FUN

〈集中講座〉のテーマは、

「まち歩き×カガク＝サイエンスクイズラリー」

昨年に引き続き、本格的なまち歩きのフィールドワークに挑戦し、まち歩きでの発見から、科学にちなんだクイズラリーを作成します。まとめ上げた成果は、8月下旬に開催される「はこだて国際科学祭2011」で実際に行われるサイエンスクイズラリーに活かされます。

プログラム

1日目：講義とディスカッション

専門家が、科学と市民をつなぐコミュニケーションのあり方、科学と地域のあり方、科学とメディアのあり方などについて、さまざまなレクチャーを行うとともに、参加者みんなで議論します。

2日目：発見のためのまち歩き

西部地区（元町～弁天町～西埠頭界限）をデジカメ片手に"ぶらぶら"と歩きながら、ふだんはなにげなく見過ごしていることを発見していきます。これはフィールドワークという、れっきとした社会調査研究の手法です。

3日目：企画をまとめるワークショップ

ぶらぶら歩きのフィールドワークで発見したことを持ち寄り、グループに分かれてディスカッションを行い、サイエンスクイズラリーの案を創り上げます。最後にみんなで発表と意見交換を行い、3日間の成果をまとめます。

「はこだて国際科学祭2011」への参加

受講者の皆さん（有志の方）には、8月20～28日に開催される「はこだて国際科学祭2011」のスタッフとして、サイエンスクイズラリーなどの運営に実際に参加していただきます。まち歩き→発見→アイデア→企画→さらにその実行まで、トータルにかかわってみませんか。



●はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、

金／土／日の週末3日間をかけて実施します。社会人・一般市民の方で平日参加が難しい方には、土／日の2日間参加も可能です。

（詳しくはサイエンス・サポート函館事務局までお問い合わせください）



●はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、

社会人・一般市民向けの公開講座であると同時に、キャンパス・コンソーシアム函館・単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」として開講されます。単位認定には必要な条件を満たしていただく必要があります。

（学生の方々へ：詳しくはサイエンス・サポート事務局にお問い合わせください。単位互換制度を利用しての受講申し込みは、各大学事務局にお問い合わせください。）



●社会人・一般市民お申し込み【7月29日締切】

●問い合わせ先・お申し込み（社会人・一般市民）

サイエンス・サポート函館事務局（担当：金森）

041-8655 函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学内

電子メール：info@sciencefestival.jp

電話：0138-34-6527

<http://www.sciencefestival.jp/>

キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目（主管校：公立はこだて未来大学）

印刷仕様
サイズ：210×297（A4）
印刷：両面印刷
紙：コート紙135kg
色数：CMYK
部数：1000部
ソフト：Adobe Illustrator10.0
印刷所：プリントプラス
D 公立はこだて未来大学
印刷文書ヤマト運輸